

教科	教科の課題 生徒の実態	具体的な授業改善策 補充的、発展的な改善内容	成果・課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に授業に参加している。</li> <li>・文字の正確さに欠ける。</li> <li>・自分の意見を順序立てて書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの書き取り方の指導を、見本を見せながら指導する。</li> <li>・人権作文や、課題作文を取り入れ、構成から考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい指導を継続することで、文字の丁寧さの成果が出てきた。</li> <li>・文章を書く上での、正しい言葉の使い方に課題がある。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について多面的・多角的に思考できる。既習事項についての知識も定着している。</li> <li>・社会的事象を理解するために適切な資料を活用する能力に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の選択、読み取り方を具体的に指導する。</li> <li>・レポート作成時に資料選択、活用の発展的な指導をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を正しく読み取ることができるようになってきている。</li> <li>・レポート作成時の資料選択、活用の仕方に課題がある。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に前向きに取り組んでいる生徒が多い。</li> <li>・習熟度の差が大きい。</li> <li>・基本的な知識や技能の習得に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な知識・技能の向上のため、宿題や小テストなどで反復練習を行う。</li> <li>・根拠となる事柄を明確にして、それらを伝えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復練習により、基本的な知識・技能の向上が見られた。</li> <li>・根拠となる事柄を明確に伝えようとする姿勢が見られた。</li> <li>・習熟度の差が大きく、全体の底上げに課題がある。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心はあり、授業に対してとても積極的ではある。</li> <li>・理解を深めようとする意識に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補充的な課題を定期的に出し、問題に慣れさせることで理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に復習のプリントに取り組むことで、基礎知識が定着した。</li> <li>・実験の考察を考えて書くことに課題がある。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々で積極的に取り組むことのできる姿勢がある。</li> <li>・グループや集団での活動を自主的に進める力に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹奏楽や合唱において、パート練習の方法を理解させ、年間の授業を通して定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動時のグループ練習の方法について定着しつつある。</li> <li>・生徒から意見を出し合い、どのようにしたらより良い演奏になるか考えながらグループ活動を行えるよう指導する。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に授業に取り組むことができる。</li> <li>・個々の生徒の技術力に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題ごとに、わかりやすく、丁寧な説明と指導を心がける。</li> <li>・生徒の進度に合わせ、じっくりと制作時間を確保する。</li> <li>・作業が早く終わってしまう生徒には、技術を高める指導と追加課題を用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入を工夫し時間をかけることで、生徒が課題に主体的に取り組めた。</li> <li>・生徒の個性が伸びるよう肯定的な助言をすることで発想力豊かな作品を制作できた。</li> <li>・大胆さと繊細さを目的に応じて使い分けることに課題がある。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・個々の体力の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動を多くするなどして、更なる意欲の向上を図る。</li> <li>・習熟度別に課題を設定するなどして、生徒に応じた活動を多くする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動の中で教え合いや励まし合いが増え、どの生徒も意欲的に活動に取り組めた。</li> <li>・習熟度別の課題を達成することで生徒が達成感を得ることができた。</li> <li>・柔軟性に課題がある。</li> </ul>
技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や実習に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・知識の定着に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの活用を充実させる。</li> <li>・プリントをきちんとまとめさせ、提出を徹底させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの内容を簡潔にし、わかりやすくしたことにより、学習意欲が高くなった。</li> <li>・同じ課題を反復することで知識の定着ができた。</li> <li>・座学のときの集中力に課題がある。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動や、話し合い活動などで自分の考えを明確に説明できている生徒とそうでない生徒の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをワークシートにまとめてから話し合いを行う。</li> <li>・授業の中で、全ての生徒が自分の考えを表現したりする機会を多く設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートをもとに話し合い活動をさせることで、内容の理解が深まった。</li> <li>・個人で発表する機会をさらに増やす必要がある。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語に対して意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・正確に英単語や英文を書くことや、英単語を覚えることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し英文を書く練習をし、それをチェックして確認させる。</li> <li>・小テストを増やしていき、単語を覚える習慣を付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを用いて繰り返し英文を書く練習をすることで、アルファベットを認識して書けるようになった。</li> <li>・英単語を覚えようとする意欲は出てきたが、実際の問題等で覚えた英単語を用いることに課題がある。</li> </ul>